

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	もくの木たいせつ		
○保護者評価実施期間	令和7年3月3日		～ 令和7年3月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和7年3月17日		～ 令和7年3月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月24日		

○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	柔軟性があり、様々なアイデア、自分がしたい支援への取り組みがしやすい	日々話し合いの中で意見を出しやすく、それが直接支援につなげられている。	研修などの充実により1人1人のスキルアップが事業所全体のスキルアップにつなげていく
2	プログラムの明確化がされている	1週間のプログラムが決まっているが、曜日、個々によって細分化されたものを更に細分化したり、レベルアップを図ったりしている。	能力や年齢などで個々にあった支援ができるように打ち合わせの時間を取っていく
3	静と動のプログラムが行われており、スケジュールとして掲示してある	お当番活動では日付の確認など、数などの認知向上を図っている。	スケジュールの確認や振り返りも行っている

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の仕事量の多さが懸念されている	職員の人数が足りていないこと、できることにも限界があること	職員人数の確保
2	研修の時間の確保	仕事内容の分散化、明確化が必要	打ち合わせ時間を作っていくと同時に誰が何を抱えているかの視覚化し、年次計画を立てることで時間を確保していく
3	人材の確保、職員のスキルアップに向けた取り組みが必要	サービス提供以外の時間の使い方に職員でばらつきがある	いつ、だれが、何をするのか、何をしているのかを明確化し、年次計画を立て、スキルアップ研修などを行っていく